



7月24日(火)

## 創造主

聖書朗読 ヤコブ 1:12~18

見よ。山々を造り、風を造り出し、人にその思いが何であるかを告げ、暁と暗やみを造り、地の高い所を歩まれる方、その名は万軍の神、主。 アモス 4:13

夫と私は鳥を観察するのが好きです。たとえその日の仕事があまくいかなくても、私たちの友達である鳥たちのためには、いつも十分な水とえさを用意しています。

羽が多色のヨセフは私たちのお気に入りの鳥です。毎年3月になると私たちのところにやってきて、8月まで滞在します。ヨセフはスズメぐらいの大きさで、ホオジロと呼ばれることもあります。ホオジロは北アメリカで最も美しい鳥の一種です。前庭にある木の梢でヨセフが仲間にさえずっているときは、何をしていても手をやすめて聞き入ります。時には窓を開けてその歌で家を満たします。双眼鏡を使えば、手軽にその美しい羽の色、紫や赤、緑や黄色を観察することができます。私たちがどんなにヨセフのことを祝福と感じているか、ヨセフが知れば、きっと喜ぶことでしょう。

神様の創造物のすべては、平等であるといえるでしょうか？ 私は神様の力や偉大さ、創造力にはいつも驚かされています。すばらしい植物やその美しさに気持ちをかきたてられ、それらを非常に愛しています。おそれ多くも、私たちの神様は、その子どもである私たちに、良き贈り物をくださるのです。

神様の指は愛の鋳型を作り出す。

——— ジョージ・マクドナルド

讃美歌 90

祈り お父様。すべてのよいことはあなたから来るのだと、すべての思想と賞賛はあなたゆえだと、私たちがいつも気づいていられますように。  
イエス様の御名において。アーメン。

バーニス・マドックス

テキサス州 ウェザーフォート

7月25日(水)

## 神とともに歩む

聖書朗読 ヘブル 11:5~10

エノクは神とともに歩んだ。神が彼を取られたので、彼はいなくなった。

創世記 5:24

この話は神秘的です。エノクが神様と歩き、そしていなくなったとは。人々が神様から離れていた時代に、エノクが神様とともに歩いたということは、驚くべきことです。それから後三代目の子孫の時代に、神様は洪水によってすべてを新しくスタートなされたのです。(ノアは、神様がエノクを取られてから69年後に生まれました。)

注目すべきことは、エノクの300年の神様との歩みは、彼の息子メトシエラが誕生した後に始まったということです。父親の責任がエノクを、神様とともに正しく歩むようにさせたのかもしれませんが。エノクが住んでいたのは、悪にとりまかれた社会であったのかもしれませんが。エノクは息子に、正しく価値あることをどうやって教えようか、と思ったことでしょう。エノクが神様と歩み始めたのは65歳のときです。これは当時の人生の長さからみれば、若年期に相当します。しかし、エノクが結婚して家族を持つには十分な歳でした。神様の救済をうけるのに、遅すぎる歳ではありませんでした。

親である私たちは彼に学ぶべきです。世界は罪に満ちており、人の子が来るのは、ちょうどノアの日のようだからです(マタイ 24:37)。エノクにとって、神様とともに歩くことが、難しいときもあつたに違いありません。エノクの世代の多くがサタンと共に行動していたのですから。時代は変化していったのです。

もしあなたのクリスチャンとしての心が伝染的でないならば、それは汚染されているのかもしれませんが。

——— チェスター・H・ジョンソン

讃美歌 第二編 187

祈り 親愛なるお父様、あなたとともにどのように歩めばよいか教えてください。  
イエス様の御名において。アーメン。

ロジャー・チャップマン

インディアナ州 テレホート

7月26日 (木)

## 「臭い」の元はどこ？

聖書朗読 ヘブル 12: 1～6

私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、・・・

ヘブル 12:1

私のところに遊びに来ている孫たちが、浜辺から帰ってきたとき、彼らが採ってきた貝殻を私は丹念にしらべました。孫たちの父親も子どものころ貝を採りに行っていたので、その経験から学んだのですが、時々貝殻の奥の見えないところに、小さなカニが潜んでいることがあるのです。海から家の中へ知らない間に移されてしまった、このちっぽけなカニは、今は貝の奥に隠れています。しかし後でそこから出てきたとき、部屋の中の暗い隅を見つけて入り込み、そこで死んでしまいます。そのときにカニが発する臭気は本当にひどく、家からそのにおいを取り除くことはなかなかできません。

私たちの生活についても同じことが言えます。汚れは私たちの家の中に潜み、封じ込まれています。あなたの本、雑誌、映画など、あなたの関心事をチェックしてごらんください。あなたの会話のなかにチラッとあらわれる妬みや噂話、欲望などは、あなたの性格を育んでしまいます。あなたの心と思い出を守りなさい。

主よ、私の人生を取り、  
それを完璧にあなたのものとし、  
私の貧しい心をあなたの偉大なる愛で満たし、  
私の意志と情熱と自我と高慢をすべて取り上げてください。  
そうすれば私は、主を私のところに住ませることができます。

———J・エドウィン・オル

聖歌 339

祈り お父様。私たちが、敵が這いよってくる道を警戒してられるように、助けてください。私たちの目があなたにいつも向いていますように。

イエス様の御名において。アーメン。

キャシー・ドーキンス  
アラスカ州 ケチカン

7月27日 (金)

## 信仰によって輝く

聖書朗読 ヤコブ 2:14～20

あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。

マタイ 5:14

最近のテレビのコマーシャルに、女の子たちの集団がその仲間の一人をからかっているシーンがありました。「彼が誰だか言いなさいよ」、「あなた、恋をしているんですよ。あなたが輝いているからわかるわ」。愛や喜び、悲しみといった深く内に秘めた感情は、私たちの表情に輝きとしてあらわれずにはいられません。

ヤコブはこの聖書の教えで、これと同じ考えを表現しています。私たちが本当は誰で何であるのかは、私たちの行動の中に見られるでしょう。本物の信仰は、目の前にある必要に答えずにはおれません。キリストの永遠なる天性の栄光があらわされ、キリストが山の上で神々しくなったように、私たちが日々の生活の中で、必要に直面するごとに、それは私たちを神々しくする潜在的なものとなるのです。これらの必要は、私たちの信仰の真実性を輝かせるよい機会であると、ヤコブは言っています。

あなたは、頭に一枚の舌、靴に二枚の舌を持っている。  
頭の舌が何を言おうとも、靴の舌があなたが実際にすることを話す。  
靴の舌はあなたが何をしているか、どこへ行こうとしているかを話す。  
恐るべき真実とは、靴の舌こそが最後のことを握っているということである。

———ジョン・バニヤン

聖歌 523

祈り お父様。私たちの人生がキリストの栄光の光により満たされますように。私たちの心が輝きますように。そしてその輝きが、必要とされることへの奉仕によって表されますように。その輝きによって、この世の暗闇を照らしますように。

イエス様の御名において。アーメン。

スティープン・ケイ  
カリフォルニア州 ラッドランド

7月28日 (土)

## きれいに保ちなさい

聖書朗読 I ペテロ 2:9~12

あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。

I ペテロ 2:10

10歳ぐらいの少年が、礼拝が終わった後、説教者のほうへ歩いて行って言いました。「僕を覚えていますか?」。説教者は少年をじっとながめていましたが、思い出せません。少年は言いました。「僕は、以前泥だらけになったときに、あなたに洗ってもらったことがあります」。「ああ、あの時の少年」と説教者は、数年前の出来事を思い出しました。自宅の前で転んで泥だらけになってしまった少年を家に招き入れ、きれいに洗ってあげ、学校まで送ったことがありました。説教者は笑顔で言いました。「もちろん、あなたを覚えていますよ」。

私は想像します。ある日、天なる創造者の前に立って、私たちは言わなければならぬかもしれません。「あなたは、私を覚えていますか? 私はあなたに泥をきれいに洗ってもらいました」。天国のお父様は御顔に笑みをたたえておっしゃることでしょう。「ええ、もちろん、私はあなたを覚えていますよ」。

讃美歌 第二編 205

祈り 天国のお父様。かつては「神の民」ではなかった私たちを愛し、サタンが私たちを投げこんだ泥の中から救い上げ、きれいに洗ってくださったことを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・ハーグローブ  
テキサス州 ダラス

7月29日(日)

## 神様は価値のないものは作りせん

聖書朗読 I ペテロ 2:9~12

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、・・・

I ペテロ 2:9

数年前、子どもたちがよく「私は大物だ。なぜなら神様がつくられたのだから」と書いたTシャツを着ていました。私は本当にそのとおりでと思います。もし、私たちが神様に属していれば、私たちは高貴な聖職者なのです。神様の存在は、ほとんど人間の理解を超えています。

私たちのほとんどは、時には、自分自身をけなしたり、自分が望むほどの価値を自分自身に見出さない傾向があります。しかし、それをしてはいけません。神様のみことばは何度も、私たちが価値あるものであると言っています。もし、神様の目がスズメに価値を見い出されるのなら、私たちの価値はそれ以上であるのです。私たちは自身の価値をサタンの罠にかけて低くしてはいけません。

旧約の時代のヘブル人たちは何度も墮落しました。その理由の一部は、彼らが、「自分たちは神様に選ばれた民族である」ということを忘れたことにあると私は考えます。ですから、新約の信仰者として、私たちは常に、私たちが選ばれた民族であることを覚えていましょう。神様は、価値のないものはつくられません。

讃美歌 500

祈り 天国のお父様。私たちを愛し、私たちをあなたの選民となさったことに感謝いたします。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・ハーグローブ  
テキサス州 ダラス